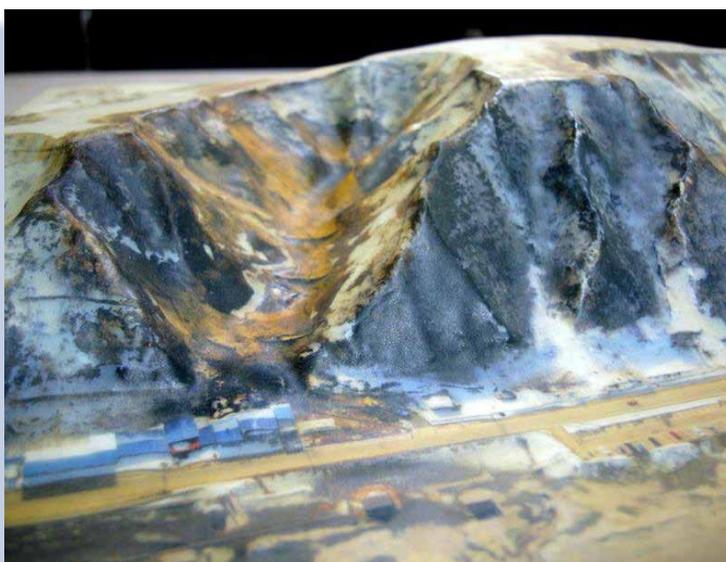




立体地形模型 フィジカル写真



2013, 2
株式会社ウェザーコック



衛星写真に高さデータを持たせ、立体化することに成功しました。

そのリアルな景色は現実を忠実に表し、写真の持ち味を十分に引き出します。3次元で考える事の分かりやすさが肌で感じられ、開発の完成予想、防災対策など多くの場面でお役に立ちます。

特徴とメリット

立体化された衛星写真は地図を見なくても高さ情報が分かります。斜面の表情が形と写真で迫ってきます。リアルな現実が手に取るようになります。

用途

現実を身近に感じる必要のあるときに役に立ちます。防災現場に、計画のベースに、情報発信に、リアルさをお届けします。

今までは

今までは地図と同じく平面でした。地図のような表記も無く説明が無くとも、しかし家の一軒ずつが総て表現されその情報量は大変な発信力があります。

製作方法

国土地理院で製作される数値地図（標高）やレーザ測量で得たデジタルデータを基にコンピュータで自動成形した地形の上にオルソデータを貼り付けています。衛星写真以外に分布図などのコンピュータデータにも利用できます。

ALOSデータ 販売代理店

Advanced Land Observing Satellite
ALOS（エイロス）とは日本が打ち上げた最新鋭の地球陸域観測衛星です。

3次元によるコミュニケーション

株式会社ウェザーコック

062-0023札幌市豊平区月寒西3条7丁目1-31

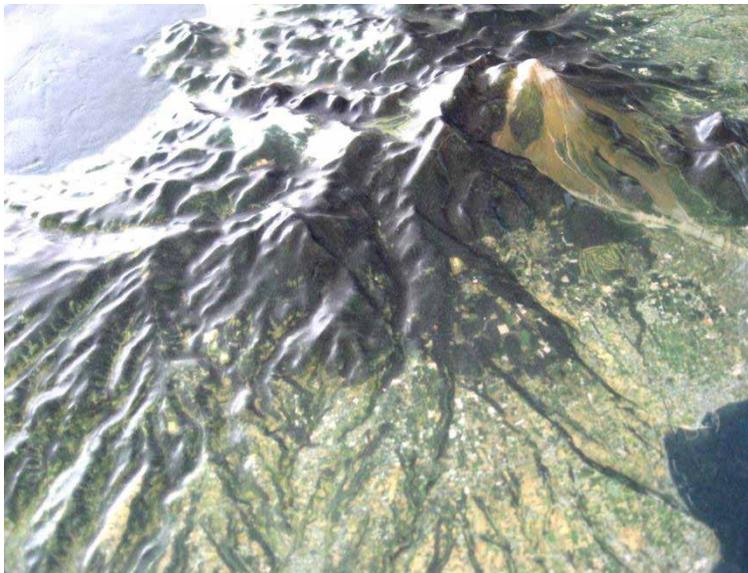
Tel: 011-852-1623

<http://www.weathercock.co.jp>

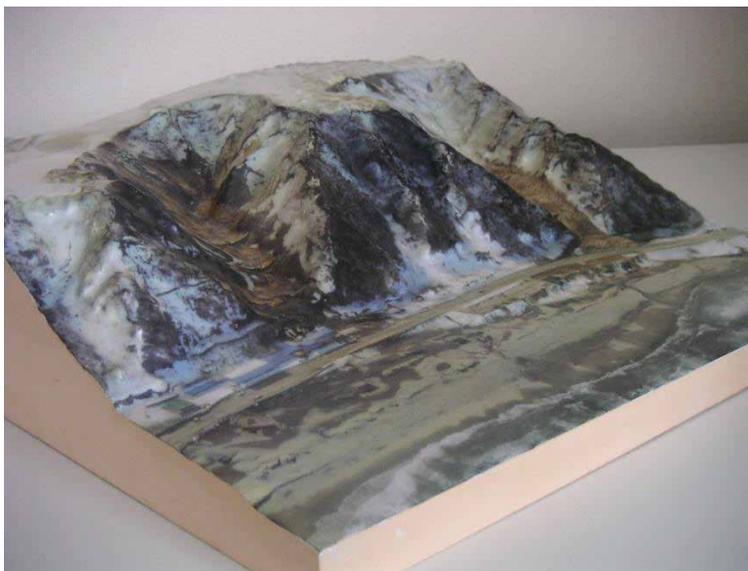
E-mail: info@weathercock.co.jp



データ：ALOS AV2



データ：ALOS AV2+PRISM



データ：北海航測株式会社 航空写真